

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	運動療育をする際は十分に身体を動かして活動できるように、承認数にグループに分けての活動や、空いている放課後サービスの部屋も使用しながら活用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		子ども一人に対して職員一名配置し、充実した療育が行えるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	収納が少ないので今後も常に整理整頓を行ない、環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		引き続き居心地の良い空間となるように、活動後毎日掃除を行ない清潔さと環境整備を徹底していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		子どもの様子に応じて放課後サービスとも連携を取りながら個室利用を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員一人一人が目標と振り返りを意識しながら、業務に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		頂いた意見を職員間で共有しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日午前と午後の療育後にミーティングを行い、職員同士で意見を交換し合う時間を今後も設けて業務へと繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		より良い療育を提供できるように、事業所内以外でも意見をもらいながら行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修する機会を設け、職員全体で研修報告会を行い勤勉に努めています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		個別支援計画を職員間で共有し、毎月個々に合ったプログラム活動を設定しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		職員間で子ども一人ひとりのアセスメントを行ない、毎回療育後ミーティングを通して今後の課題の話し合いをしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎日のミーティングを通して、職員間で情報共有をしています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		新しい支援計画書の際は職員間で共有し、支援へと繋げています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		個人ノートを作成し、通所される児童の日頃の様子を個別支援書に記入して全職員が把握できるようにしています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		半年に一回のモニタリング時期の面談で今後の課題について保護者と一緒に考えながら、支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		子どもの様子を話し合い、職員間でプログラム設定をしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		週二、週三ご利用の児童もいるため、固定化しないようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団活動と個別課題の時間を設けてじっくり支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		活動準備やプログラムの進め方など活動前は話し合いを行って円滑に取り組められるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		午前・午後共に毎度ミーティングを設けて情報の共有や今後の課題の話し合いを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の記録やミーティングを徹底しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一回保護者面談を行い、新たな支援計画書の作成を行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者、児童発達支援管理責任者が参加し、会議内容を職員間で共有しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		一貫して子どもの療育が行えるように、病院療育の見学を定期的に行ないながら他関係機関とも連携しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		園とは送迎時に子どもの様子を共有し合っています。それ以外にも園に直接見学に伺い、園側と事業所の間で情報共有しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		直接就学先の学校側と情報共有は少ないですが、保護者を通して子どもの様子を伝えていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		巡回指導に来てもらい、子どもの支援方法等アドバイスをもらっています。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	交流が少ない為、連携園や課外遊びを通して交流を広げていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時の申し送りや、連絡ツールアプリを通して毎回子どもの様子を文章と写真で保護者に伝えると共に、気軽に相談事が話せるようにアプリを活用しています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	保護者の方には送迎時の申し送りの際に、子どもの関り方や支援方法を伝えています。今後も市など身近な研修の情報共有をしていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に時間を設けて保護者へと伝えています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者の方との面談や日々の職員間での話し合いをもとに、支援計画書へ繋げています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面談後新しい計画書を配布し、毎回了承を得られたらサインをもらっています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		その都度必要に応じて保護者の方との電話での話し合いや面談を設けています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者参加型が少ないので、今後交流する機会が出来るように検討しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		申し入れに対して迅速に対応を心掛け、職員にも周知を徹底しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		専用アプリを通して、日頃の療育内容や常に連絡体制が取れるようにしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報記載の書類等、鍵付きの書庫へ毎日保管し徹底しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもの特性理解や保護者との連絡を通して連携を大切にしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域住民との交流がない為、行事や公園遊びを通して交流を深めていきたい。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		事業所内でマニュアル化を行い、職員や保護者に提示をしています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に二回、学童と放課後デイサービスで合同の避難訓練の実地をしています。避難場所や非常災害時の対応について契約時に保護者にも伝えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前の聞き取りで細かく記録し、職員間で共有を徹底しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーや服薬している物について、保護者に丁寧に聞き取りを行い記録を取り職員間で周知して対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		今後も研修や会議を通して努めていきます。

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	日頃の様子をアプリを通して伝え、連携が図れるような体制を今後も努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	小さなことでも共有し合い、再発防止に向けた話し合いの実地をしている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	虐待防止委員会を設置し、密な話し合いを行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	今後も事前に保護者説明を行い、細かく伝えていきます。